



一歩～3C～



2024(令和6)年7月3日

福山市立日吉台小学校

6年学年通信 No.9

さすが、プロ!!

6月20日(水)に、リーデンローズ音楽宅配便でピアニストの水永亜実子さんと授業をしました。この授業は、生の演奏を身近で聴くことで、音楽に対する興味・関心を高めることを目的として行います。子どもたちは、水永さんの演奏や指の動きに驚いていました。授業終了後、「また聴きたい。」「違う曲も聴いてみたい。」「リーデンローズで聴いたら、どんな感じだろう。」などたくさんのお話をしていました。普段なかなか体験することができないことをすることができ、満足しているようでした。

7月29日(月)に渋谷育英会N響コンサートを聴きに行きます。その時も、今回のように学びや感動のあふれる時間になってほしいです。詳細については、後日お知らせします。

ピアノのすばらしさ

水成 真翔

ピアニストの水永さんが、音楽宅配便で授業をして下さった。僕は、最初、ピアノの演奏を聴くだけだと思っていたが、ピアノの仕組みや季節の曲などたくさんのお話について体を使って学ぶことができた。

最初、水永さんが変装をして登場した。昔は、ピアノを演奏するときには、かつらをかぶらないといけなかったことを面白く教えて下さった。

次に、ピアノの音が鳴る仕組みを説明して下さいました。鍵盤を押すと、ハンマーという羊の毛でできたパーツにつながっており、それが弦に当たって音が鳴るそう。羊の毛にすることで、音がやわらかくなることや、弦がワイヤーのようなものでできていて、ものすごい力で引っ張られていることも知ることができた。また、ピアノは八千以上のパーツからできていることも知ることができた。

ピアノの弦は、震えて音が出ていることについて、弦にピンポン玉をまいて実験をした。鍵盤を殴るように弾くと、ピンポン玉はポップコーンのようにはねてとんだ。そのあと、弦に向かって大きな声で叫ぶと、声が響いた。このことから、弦を強く引っ張ることで、よく震えることが分かり、結び付けて考えることができてとても楽しかった。

この後も、ピアノの下にもぐって音を聴いたり、梅雨にちなんで、体で雨の音を表現してみんなで演奏したりした。今日の活動は、たくさんのお話を分かりやすく楽しく知ることができた。これからも音楽の学習も頑張っていきたい。

7月の納金

7月の納金は11,700円です。引き落としは、7月8日(月)です。

・給食費	255円×22回	5,610円
・学年費		3,026円
・積立金		2,000円
・学力の伸びを把握する調査		539円
・タブレット端末保守費		381円
・雑費		100円
・手数料		44円
計		11,700円

